

プレスリリース

国連に支援されたパイオニアである市民を中心とした同盟関係が、蚊が媒介する病気に対し、毎年 270 万の命を救うため世界規模の戦いに加わる

このプロジェクトは国連の電子プラットフォームである“エンバイロメント ライブ (Environment Live)”を通じて、全国のネットワーク、利害関係者、政府にリアルタイムのデータとツールの生成、アクセス権を与える

2017年5月8日、ジュネーブ — 主にアフリカやラテンアメリカにおいて、毎年270万近くの死者を出すとされる、蚊が媒介する病気に対する世界規模の戦いを、段階的に拡大させるべく、月曜、市民科学団体と国連環境計画 (UNEP: UN Environment Programme) の新しい同盟が発動する。総体的に、蚊が媒介する事例は毎年5億と推定されている。

その新しいプロジェクトは、“グローバルモスキートアラート (Global Mosquito Alert)” の名で発動され、ジカ、黄熱、チクングニア、デング、マラリア、ウエストナイルウイルスを含む蚊が媒介するウイルスを追跡、コントロールするため、世界中から何千人もの科学者やボランティアを集結させた。それは、蚊の群数の監視、コントロールに取り組む、市民科学技術のための、初めての世界規模プラットフォームである。

プログラムは、ヨーロッパ、オーストラリア、アメリカ市民科学連合および、発展中の東南アジア市民科学集団、CitizenScience.Asiaを設立メンバーとし、共同研究により前進していくことになっている。

今月初め、UNEP、ウィルソンセンター 科学技術イノベーションプログラム (STIP: Science and Technology Innovation Program)、欧州市民科学協会 (ECSA: The European Citizen Science Association)により組織され、ジュネーブにて開催された2日間のワークショップにて、プロジェクトのローンチ契約がなされた。

UNEP の科学部門ディレクター、ジャクリーヌ・マクグレードは、「“Global Mosquito Alert” は、病気を運ぶ蚊を世界規模で監視、コントロールするため、市民科学を活用するための共有

プラットフォームを初めて提供することになる。これは、ローカル、グローバルの研究、経営ニーズに対応したスケール展開で履行され、モジュール方式の構成要素で強化でき、全ての人
が利用できる、他に類を見ないインフラストラクチャである。」と話した。

「プログラムは、世界中の地元市民科学団体が既存の蚊のモニタリングプロジェクト開発に費
している多大な額の恩恵を提供することになる。最先端の科学であるこれらの市民主導の取り
組みを維持する機会は今、進行中のプログラム開発と世界中の何百万人もの人々へプロモーシ
ョンを支援するための大きな資金を確保できるかどうかにかかっている」と彼女は付け加えた。

Global Mosquito Alert は、世界最高の自然環境科学と研究を収集、調査、共有するために設計されたダイナミックな国連の知識プラットフォームであり、“Environment Live”を通じ、コーディネートされたデータと情報提供者からなるコンソーシアムにより維持される。UNEPによって構築され、維持管理されているこのプラットフォームは、分散ネットワーク、クラウドコンピューティング、大規模なデータおよび改善された検索機能を使用して、政策立案者および一般市民にリアルタイムでオープンなデータアクセスを提供します。

コンソーシアムには : Mosquito Alert (スペイン) ; MosquitoWEB (ポルトガル) ; Zanzamapp (イタリア) ; Muggenradar (オランダ) ; the Globe Observer Mosquito Habitat Mapper (アメリカ合衆国/インターナショナル) ; the Invasive Mosquito Project USA (アメリカ合衆国)

“Environment Live” 上に表示される情報により、管理者はリスクを緩和し、健康上の脅威を軽減し、関係する市民による蚊の観察や可能な解決策を提供する機会を与えることができる。市民データは政府の公衆衛生情報源から既に入手可能な情報を増強することができる。

新しいコンソーシアムは、現在のアプローチを共有して、主要な蚊種およびその繁殖地の拡大を監視し、健康リスク管理を支援するため市民の蚊による体験の被害を測定することに合意した。グループは、最新の DNA 識別技術を用いた蚊種を監視する市民科学プログラムに関する知識と経験を蓄積することにも同意した。

-----END-----

編集者への記録 :

- “Global Mosquito Alert” 事務局 – **The European Citizen Science Association (ECSA)** : EU
その他 28 か国以上において、ヨーロッパにおける市民科学活動の成長を奨励する特定非営利活動法人。プロジェクトに参加をご希望される場合は、こちらへご連絡下さい :
Soledad Luna, Coordinator, European Citizen Science Association (ECSA), Tel: +49 -30 - 2093
8776, E Mail - Soledad.Luna@mfn-berlin.de
- その他のパートナー :

The Wilson Centre's Science and Technology Innovation Program (STIP) : 大統領ウッドロウ・ウィルソンの公式記念として、アメリカ国会より公認されたウィルソンセンターは、警察団体へ実行可能な案を伝達するための自由な研究とオープンダイアログを通じて世界規模の課題に取り組むための、鍵となるアメリカの無所属の政党政策フォーラムである。

<https://www.wilsoncenter.org/about-the-wilson-center>

UN Environment Programme (UNEP)は世界環境の権威ある主唱者として務め、国際連合システム内で持続性のある開発環境面の首尾一貫した実施を促進、世界的な環境アジェンダを定め、主要な世界的環境公共事業機関である。

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/kankyo/kikan/unep.html>

<http://web.unep.org/about/who-we-are/overview>

Environment Live は、グローバル、地域および国家レベルでの環境に関する情報と知識へのオープンアクセスを UN メンバーである国家に提供する。それは、持続性のある開発と各国がアジェンダ 2030 の目標を達成するための能力構築の提供、見通し、評価、洞察を通し、環境政策をサポートする。

<https://uneplive.unep.org/what>

The Globe Observer Mosquito Habitat Mapper は、NASA が主催するプロジェクトで the Institute for Global Environmental Strategies (IGES) ; NASAゴダード宇宙飛行センター、ラングレー研究センター、ジェット推進研究所、宇宙科学アプリケーション Inc. (SSAI) ; GLOBE 実施事務所(GIO)、GLOBE DIS とブルックリンカレッジを含むチームの複合的な努力の結果である。これはブラジルやペルーでジカ熱と戦うための市民科学データの有用性を実証することに焦点を当てた、モスキートチャレンジ コミュニティ キャンペーン(MCCC)の一部である。詳細について-

rusty_low@strategies.org

The Invasive mosquito project は、独自の産卵トラップを使用して蚊をモニターする地元の専門知識を持った教師と市民の科学者を繋ぐ、教室ベースの市民科学プロジェクトである。このプロジェクトは、子供（幼児から高校生まで）自身、家族、ペットを、蚊が媒介する病気から守るための、彼らの役割について教育することが目的である。ウェブサイトには、教師への基本的な情報、問題、パワーポイントのプレゼンテーション、レッスンプランが含まれている。詳細について : <http://www.citizenscience.us>

Muggenradar (モスキートレーダー) は、オランダにおける蚊の活動と刺される被害に関する情報を集めるための初めてのコミュニティベースのプロジェクトである。**Muggenradar** は冬の間の蚊の活動を調査するために初めて立ち上げられた調査装置である。一般市民は識別のために蚊のデータや写真、標本を提出することが奨励されている。 <http://www.muggenradar.nl>

Mosquito Alert (モスキートアラート) は、スペインに本拠地を置く市民科学プラットフォームで、蚊が媒介する病気との戦いのため、市民、科学者、公衆衛生管理者を結集することを目的としています。モスキートアラートアプリにより、誰でもセスジヤブカ；ヒトスジシマカ (*Aedes albopictus*)、ネッタイシマカ (*Aedes aegypti*) とそれらの繁殖地を報告することができる。レポートは昆虫学者のチームにより検証され、情報は関連する公衆衛生局および一般の人々にリアルタイムで拡散される。 <http://www.mosquitoalert.com/en/project/>

ZanzaMapp – Sapienza Università Di Roma – は、市民が蚊の存在を報告し、蚊の存在と活動に関するリアルタイムの情報を確認できる市民科学プラットフォームである。それは機関、政府機関、大学と一緒に蚊を防除するのに役立つ。 <http://www.zanzamapp.it/>

MosquitoWEB – Instituto de Higiene e Medicina Tropical – は、ポルトガルにおける天然の種の分布と活動の更新および、侵略的な蚊 (セスジヤブカ；ヒトスジシマカ、ネッタイシマカなど) の早期検出に焦点を当てたコミュニティベースのモニタリングプログラムである。
<http://www.mosquitoweb.pt>

CitizenScience.Asia 香港やアジア全域における市民科学プロジェクトや専門家を集結。コミュニティの目標は、市民科学の概念を促進し、地域内の異なるプロジェクト間の研究者、市民、コミュニケーター間の対話を促進すること。参加プロジェクトには、DIY バイオ香港とその香港バーコードプロジェクト、クラウドファンド **BauhiniaGenome** プロジェクト、モスキートアラートプロジェクトにおける香港参加者が挙げられる。詳細についての連絡先 – info@citizenscience.asia

詳細についての連絡先 : Shereen Zorba, Head, Science-Policy Outreach and Knowledge Networks, UN Environment, shereen.zorba@unep.org, Cel/whatsapp: +254 788 526000 , Skype: shereen.zorba